

末梢静脈カテーテルの固定方法

3M™ テガダーム™ I.V. コンフォート フィルム ドレッシング 1681 を使用

3つのポイント

- 接続部分が切り込みから出るように位置を合わせる
- フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させる
- フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付する



動画（使用方法）のキャプチャー画像を掲載した資料です。
動画の視聴とあわせてご活用ください。

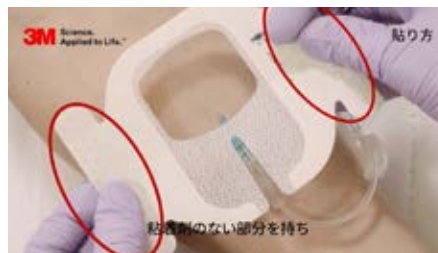
動画 URL : <http://go.3M.com/medical/piv1681/> (再生時間 : 2分6秒)



貼り方



- 1** 印刷のあるライナー紙を剥がし、粘着面を出します。



- 2** 粘着剤のない部分を持ち、



- 3** 接続部分が切り込みから出るように位置を合わせます。



- 4** フィルムの上からカテーテル周囲をつまみ、よく密着させます。
固定力を上げるために必ず実施して下さい。



- 5** フィルムを皮膚に密着させるように、内側から外側に向かって空気を押し出しながら貼付します。



- 6** 切り込み部分をカテーテルの下で沿わせるように貼付します。無理に重ね合わせる必要はありません。



- 7** 周囲をしっかりと密着させ、全体を貼付した後、フィルム部分を押しさえながら、ゆっくりとフレーム部分を剥がします。



- 8** 付属の1本目の固定用テープを接続部分の下に固定します。



- 9** 付属の2本目の固定用テープでさらに上からルートをΩ固定します。



10 付属の記録用ラベルに日付などを記入して、



11 観察の妨げにならない位置に貼付します。



【参考】

医療関連機器圧迫創傷 (MDRPU) の対策として、接続部分に別売りの3M™ マイクロフォーム™ サージカルテープなどのクッション材を使用することもできます。

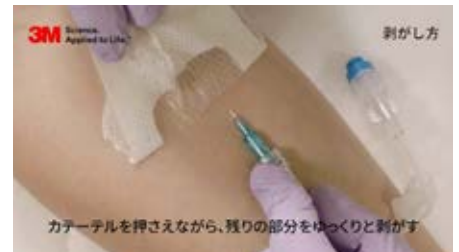
剥がし方



1 補強のテープ類や固定用テープを剥がします。手袋をはめた指の腹でなでるようにすると剥がしやすくなります。



2 切り込み部分を片方ずつ、カテーテルと皮膚を押しさえながら、ゆっくりと剥がします。



3 片手でカテーテルを押しさえながら、残りの部分を約180度に折り返し、ゆっくりと剥がします。

※ 本資料は使用方法の一例であり、本品およびカテーテル等の添付文書、取扱説明書をご確認の上、個々の患者背景及び状態を含めた医師の総合的なご判断のもとで、固定方法をご検討ください。

販売名:テガダーム I.V. コンフォートフィルム ドレッシング 届出番号:13B1X10109000232
3M、テガダーム、マイクロフォームは、3M社の商標です。

3M

スリーエム ジャパン株式会社
ヘルスケアカンパニー

医療用製品事業部

<http://go.3M.com/medical-jp/>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2019. All Rights Reserved.
CAPT-050-B

2019年4月発行

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで

0570-011-321

8:45~17:15 / 月~金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます